

| | | | |
|------|--|---------|-------|
| 法人理念 | ノーマライゼーションの理念に沿って、安全に、安心して地域で当たり前の生活ができるように人権を擁護し、生活の質の向上とその人らしい自立を目指すように支援する。 | | |
| 支援方針 | こどもホリデーは、児童が、生活能力の向上のために必要な支援を行い、小集団から学校や社会へとコミュニケーションが広がっていくように、児童の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて支援を行います。また、ご家族様への相談援助、児童の学校等関係機関との連携、地域との関りを大切に、包括的に支援を行ってまいります。 | | |
| 営業時間 | 9 時 00 分から 17 時 00 分まで | 送迎実施の有無 | あり なし |

| 支援内容 | |
|--|--|
| 本人支援 | <p>健康・生活</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康状態の維持改善 → 一人一人の子供の健康状態を把握し、小さなサインを大切に観察し支援する。連絡帳で家庭からの健康状態を確認し、事業所での検温、体調を把握して、状態により家庭と連絡を取り適切な支援をする。 生活習慣や生活リズムの形成 → 睡眠、食事、排せつなど基本的な生活習慣を形成し、生活リズムを支援していく。 基本的な生活スキルの獲得 → 基本的な生活習慣が身につくようにこどもの状態に応じて適切な時期に適切な支援を行う。 |
| | <p>運動・感覚</p> <ul style="list-style-type: none"> 姿勢と運動・動作の基本的技能の向上 → 日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持、身体全体の動作の改善習得を支援していく。 身体の移動能力の向上 → できるだけ外気にあたり、自然に触れながら楽しく散歩し、移動能力を伸ばしていく。 保有する感覚の活用 → 保有する視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、前庭覚遊びを通して支援する。 感覚の特性への対応 → 感覚の特性の過敏、鈍麻を踏まえ、感覚の偏りに対して環境調整をしていく。 |
| | <p>認知・行動</p> <ul style="list-style-type: none"> 認知の特性についての理解と対応 → 一人一人の認知の特性を理解し、自分に入ってくる情報を適切に適切に処理できるように支援する。こだわりや偏食を考えていく。 知覚から行動への認知過程の発達 → 取得した情報を過去に取得した情報と照合し、環境や状況を把握・理解し、これらの情報を的確な判断や行動につなげることができるように支援する。 認知や行動の手がかりとなる概念の形成 → 物の機能や属性形、色、音、大小、数、重さ、空間、時間など概念の形成 |
| | <p>言語 コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションの基礎的能力の向上 → 障害の種類や程度興味関心に応じて言葉だけでなく、身振り、ハンドサイン、カードによりやり取りを工夫して支援していく。 言語の受容と表出 → 話し言葉や各種の文字、記号等を用いて相手の意図を理解したり自分の考えを伝え表出する。 コミュニケーション手段の選択と活用 → 指さし、身振り、サイン、手話、音声で環境の理解と意思の伝達ができるように支援 状況に応じたコミュニケーション → 場や状況を的確に把握して主体的にコミュニケーションを展開できるように支援する。 |
| | <p>人間関係 社会性</p> <ul style="list-style-type: none"> アタッチメントの形成と安定 → こどもが環境、人、に対して信頼感を育み、困難な時に安心の基地の役割を果たせるよう支援。 遊びを通じた社会性の発達 → 遊びを通して人の動きを模倣して社会性や対人関係の芽生えを支援する。感覚遊び、運動遊びからみだて遊び、ごっこ遊びと社会性の発達し、一人遊び、平行遊びさらに役割のある共同遊びへと社会性を支援していく。 自己の理解と行動の調整 → 自分のできることや苦手なことなど自分の特徴を理解し気持ちや情動の調整を支援する。 仲間づくりと集団への参加 → 集団に参加する手順やルールを理解し、子供に応じて仲間づくりにつなげていく。椅子取りゲームや鬼ごっこ、色あてゲームなど楽しく参加を支援している。 |
| <p>家族支援</p> <p>日々の連絡帳でのやり取りや送迎時での会話で情報を共有し、困りごとや相談があれば随時対応してまいります。個別懇談を定期的実施し、それ以外では研修会を兼ねた保護者会を開催し、保護者同士の話し合いの機会を作ります。</p> | |
| <p>移行支援</p> <p>インクルージョンの考えに基づき、地域社会の中で育てて欲しいと考えています。ご本人の通う学校、他事業所等とお互いに連携を取り、進学先への情報共有も必要に応じて行います。</p> | |
| <p>地域支援・地域連携</p> <p>こどもの生活環境を広げ、当たり前の生活をする機会を作ります。 (近所の方に、外で出会って挨拶をする／公園や近隣センター、公共の施設などで周りのこども、大人と交流を図る)</p> | |
| <p>職員の質の向上</p> <p>内部研修では、毎月の支援者会議で毎月のカリキュラムの計画、報告、反省、制度改革の要点の共通理解。 虐待、安全衛生、感染対策など他の部署と連携して研修を実施。 外部研修では、支援に関する強度行動障害研修基礎・実践コース、千葉県発達支援センターの案内のある連続講座、柏市内にある事業所連絡会などに参加・報告。</p> | |
| <p>主な行事等</p> <p>お誕生会や、季節の行事を取り入れたカリキュラムを毎月作成し、活動しています。 (お花見、こどもの日、七夕、夏の水遊び、お月見、外食、ハロウィン、クリスマス、初詣、節分、ひな祭り、買い物 など)</p> | |